

### Ⅲ. 分担研究報告 5

厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)  
分担研究令和3年度終了報告書

サリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態の諸問題に関する研究  
放射線診断学的見地からの検討

研究分担者 田嶋 強

研究要旨:本研究の目的はサリドマイド胎芽症患者における健康上の問題点を放射線診断学的見地から明らかにすることである。これまで、CT、MRI を用いて全身の画像所見を解析し、身体内部異常の放射線学的所見と頻度について考察を加えて報告してきた。今年度も健康診断を継続し、身体内部異常の評価を継続実施する予定であった。今年度の検診参加者は、コロナ禍の影響が大きく2名のみであり、受検した検査は CT であった。今後、コロナ感染症の鎮静化が得られた際には、検診の規模拡大、追加解析を行う予定である。

#### A. 研究目的

本研究の目的はサリドマイド胎芽症患者における健康上の問題点を放射線診断学的見地から明らかにすることである。これまで、CT、MRI、一般撮影を用いて全身の画像所見を解析し、身体内部異常の放射線学的所見と頻度について考察を加えて報告してきた。今年度は、健康診断を継続することにより、CTに関する身体内部異常の評価を継続実施することを目的とする。

#### B. 研究方法

・本年度も胎芽症者の健診を実施した。  
2021/12/17、2021/12/20に検診を実施した。健診受診者は2名(女性2名)。受診者のプロフィールを表1に示す。  
・実施された健診における放射線関連検査の内容はCTである。  
・実施されたCT検査の部位は、頭部、頸部・椎体・四肢・筋、体幹部、内臓脂肪測定であっ

た。

表 1. 受診者のプロフィール

症例番号	性別	年齢(歳)	障害の内訳
1	F	59	上肢低形成
2	F	59	上肢低形成

#### C. 研究結果

以下に結果を要約する。各検査の具体的な結果は以下のごとくである。

- 1) 側頭骨 CT(受検者2名)  
異常なし(2名)。
- 2) 頭部 CT(受検者2名)  
異常なし(2名)。

- 3) 脊椎 CT<受検者2名>  
頰椎症・前方すべり(1名).  
二分脊椎・仙尾骨陳旧性骨折(1名).
- 4) 体幹部 CT<受検者2名>  
以下の異常を認めた:後鼻腔の狭小化1名、肺  
気腫1名、脂肪肝1名、子宮筋腫1名、腎結石  
2名、甲状腺結節1名。
- 5) 内臓脂肪測定<受検者2名>  
内臓脂肪は正常(1名)、内臓脂肪蓄積型肥  
満(1名)であった。

#### D. 考察

本年度の検診も、コロナ禍の影響で縮小を余儀なくされた。今回の受診者においては上述のような異常が検出された。塊椎や無胆嚢症、側頭骨の形成異常など、従来高頻度発生を指摘されていた項目については、今回検出されなかった。

従来指摘してきたように、胎芽症者にとっては、生活習慣病の罹患や加齢性変化が、今後の生活の質の維持において重要となっている。今回の検診でもこれらに該当する異常が散見されたが、治療を要するほどの重篤なものは検出されなかった。受検者の発現症状がともに上肢低形成であったことが関与しているのかもしれない。また、悪性疾患も検出されなかった。

コロナ禍、とくに緊急事態宣言下の現状においては、サリドマイド胎芽症者にとっては、コロナ感染はとくに注意すべき状況であり、検診を契機とする感染は避けるべきである。パンデミックの終息により、安全に検診が実施可能となる日が早く訪れることが期待される。

#### F.研究発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

- 1.特許取得
  - 2.実用新案登録
  - 3.その他
- いずれも該当なし